

次世代自動車 新規軽量化材料を使った 設計シミュレーション技術に関する実習

開催概要

と き 平成30年1月16日(火) 13:00~16:30

と ころ 浜松工業技術支援センター
(静岡県浜松市北区新都田一丁目3番3号)

受講対象者 次世代自動車関連分野の開発に携わる、もしくは今後携わる予定で、次世代自動車の新たな技術分野に関心のある静岡県内企業の技術者、研究者、経営者、技術部門役員等

定 員 20名 (応募が多数の場合、受講いただけない場合がございます。)

受講料 3,000円

主催 静岡県、公益財団法人静岡県産業振興財団

事業実施機関 一般社団法人中部産業連盟



ねらい

自動車部品や車載機の開発/設計においては、機器性能、強度検証、熱対策、振動対策、その他の複合的検討が必要となります。今回は、この複雑な設計要件の検証やフロントローディング化に大きな役割をはたすCAE(構造、熱、振動シミュレーション)に着目し、最新のCAEで何がどこまでシミュレーション可能かの概要説明及び実際に操作していただく体験セミナーを企画しました。このセミナーでは世界で幅広く利用されているSOLIDWORKSを、講師の指導のもと一人一台の環境で実習していただけます。また、CAEの適用範囲は製品開発/設計に留まらず、近年では生産設備、金型等でも積極的に活用されています。是非この機会をご利用くださいますよう、ご案内申し上げます。

テーマ	新規軽量化材料(アルミ合金、ハイテン等)を使った設計シミュレーション技術に関する実習
講師	株式会社TEK 代表取締役 豊山 一教 氏 取締役技術部長 早川 喜章 氏
内容	<p>13:00~13:45 ・シミュレーション(CAE)概要 CAEの種類、特徴、近年の傾向等の解説</p> <p>13:45~15:00 ・構造解析の実習 機械部品を対象とした例題を通し、外力による変形、ひずみ、応力を計算する静解析法を実習する。</p> <p>・固有値解析の実習 機械部品を対象とした例題を通し、共振周波数や共振モードを計算する解析法を実習する。</p> <p>15:00~15:15 ・休憩</p> <p>15:15~16:30 ・伝熱(熱伝導)解析及び熱変形解析の実習 部品の各点温度、熱流を計算する伝熱解析法の実習及び温度変化による熱ひずみ/変形の計算を行う熱変形解析法を実習する。</p>

募集要項

- ◆ 受講料(1名様) 3,000円(消費税・教材費を含む 会場までの交通費は自己負担いただきます)
- ◆ 申込方法 「受講申込書」に必要事項を記入の上、切り取らずFAXまたはメールにてお送りください。
- ◆ 申込締切日 平成30年1月9日(火)13:00まで
- ◆ 受講者決定 受講いただくことが決定した場合には、1月11日(木)に事務連絡責任者にFAXにてご連絡いたします。請求書は1月11日(木)以降に別途郵送いたします。
- ◆ 申込先 一般社団法人 中部産業連盟 マネジメント研修部 担当:安藤・大土井
E-Mail seminar@chusanren.or.jp
〒461-8580名古屋市東区白壁3-12-13 TEL052-931-9826(直通)FAX0120-342-340

FAX 0120-342-340

マネジメント研修部 安藤・大土井

受講申込書

会社名	
所属部署・役職	平成 年 月 日 氏名(フリガナ)

〒
住所

TEL

FAX

E-mail

事務連絡責任者

事務連絡責任者

所属・役職

氏名

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数
		百万円	人

今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。詳細は当連盟HP(<http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html>)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。

セミナーなどの関連情報の案内を希望しない

※お申込みにあたり必ずご記入お願い致します。

おすすめ講座のご案内

次世代自動車 要素技術研究講座(2日間)

日 時 **1** 平成30年1月30日(火) 10時30分~16時00分 **2** 平成30年2月9日(金) 10時30分~16時00分

ところ 浜松工業技術支援センター(浜松市北区新都田一丁目3番3号)
受講料 5,000円(2日間コース)

ねらい 本講座は、自動車業界の最新動向、技術戦略を理解し、今後の自社の経営戦略立案や具体的な技術開発に役立てることをねらいとして、自動車業界に詳しい専門家や企業の実務家の方々より講演をいただきます。自社の技術課題解決や新たな技術開発への取組を具体化・促進させ、学んだ知識を開発現場にて即実践し、技術指導できるような人材の育成に、是非とも本講座をご活用ください。

